

帯広畜産大学筒木研究室



帯広畜産大学筒木研究室

(定年退職により今は無い)



帯広畜産大学筒木研究室

(定年退職により今は無い)



別科圃場 (左2つ) と精密圃場 (右)

帯広畜産大学筒木研究室

(定年退職により今は無い)



土壌断面標本(土壌モノリス)について(筒木研究室展示説明)

- この廊下の壁にかけられたいくつかの標本は、畜大の畑の土を掘って、そこに現れた土壌断面を樹脂で固定してはがしてきたものです。
- この1メートルばかりの土壌の層は、過去2万年ほどの間に堆積したものです。
- 土壌断面の一番下には、川によって運ばれた砂や丸い石があり、その上には、いくつかの火山灰層や、大陸から飛んで来た土のチリが積もっています。そして、土壌断面の上のほう30cmから40cmの部分は、私たち人間によって耕された部分です。

土壌断面標本について(続き)

- 「土は生きている」という言葉があります。
- 土は植物と動物を含めたすべての生命の源であり、またほんの一握りの土の中にも、何億何兆という微生物が暮らしています。
- さらに、土自身も、もともとは岩石から生まれ、生き物を育てる豊かな土壌へと成長してきましたが、時がたち、気候が変わり、また人間による使い方があまりに過酷ならば、砂漠のようになって死んでいくこともあります。
- そのようになった土も世界のあちこちにあります。
- そのようなことが起こらないように願いたいものです。

土の館(上富良野町)



早来町の巨大土壌断面。樽前火山灰各層が明らか。

土の館(上富良野町)



十勝岳噴火泥流のつめ跡 (1926年)

土の館(上富良野町)



暗渠排水など農業土木技術の解説もていねいに行われている。

世界土壌博物館

(オランダ、ワーゲニンゲン)



世界土壌博物館 (オランダ、ワーゲニンゲン)



世界土壌博物館 (オランダ、ワーゲニンゲン)



世界土壌博物館

(オランダ、ワーゲニンゲン)



世界土壌博物館

(オランダ、ワーゲニンゲン)

